

まちの記憶を受け継ぎ、

めぐる未来へ

●いのちめぐる、まちづくり

上山八幡宮の禰宜として神事を担いながら、東日本大震災後はまちづくりにも深く関わってきた工藤真弓さん。「神社は氏子さんとともにある場所。だからこそ、まちをつくるのも自分の役割だと思いました」と語る。震災の1年半ほど前、南三陸町の町民憲章の作成に参加。町民から集めた言葉をもとに、南三陸の自然や命のめぐりを歌った憲章を工藤さんが起草した。震災後、この憲章はまちづくりの指針となった。「みんなで歌い上げた憲章をもう一度見つめ直すことで、“いのちめぐるまち”が自然と将来像になっていきました」

●南三陸に残る、祈りのかたち

震災後、地域に伝わる「キリコ」の意味も見つめ直した。キリコとは、神社が氏子さんのために作る神棚飾り。三陸沿岸に今も残る文化で、御餅や御酒、知恵袋などのお供え物を白い紙を切り抜いてかたどった絵柄は、同じモチーフでも神社によって異なる。「三陸沿岸は、津波や冷害などの天災が繰り返し起こってきた地域。食べ物も祈る場もない中、紙に願いを託して乗り越えてきた。だからこそ、沿岸部に残る文化なのだと思います」。風にひらりと揺れる姿に神の存在を感じながら、1枚1枚に思いを込めて切り出す。文化を通して町を知ってもらおうと、工藤さんはキリコ体験を提供している。「切る時間そのものが、自分と向き合う祈りのようなもの」と工藤さん。キリコ体験を通じて、南三陸に息づく祈りのカタチにそっと触れてみてほしい。



地域に根付く
「地元のプロ」にインタビュー。
16回目は、「上山八幡宮」
の工藤さんです。

file no.16
くとう まゆみ
工藤真弓さん



風に揺れるキリコのように
どんな変化にもしなやかに
応じる町のみなさんに
日々まえて頂いております。

上山八幡宮

〒南三陸町志津川字上の山27-2

☎ 0226-46-3453

🕒 拝観可能時間：9:00～17:00

※ キリコ体験は事前の予約が必要です。詳しくは「南三陸体験学習プログラム」公式サイトをご覧ください